

研究課題名：IMHを伴う急性A型大動脈解離における早期および長期手術成績の検討

所属(診療科)：心臓血管外科

研究責任者(職名)：田島 泰 (医師)

研究期間：2023年1月1日～2032年12月31日

研究目的と意義：急性A型大動脈解離は全身性の高炎症反応に加え、臓器血流の低下などを引き起こし、死亡率/合併症率の高い疾患です。Intramural Hematoma (IMH)は大動脈中膜の vasa vasorum の破綻が原因で発症する tear のない大動脈解離です。軽症例には保存治療が有効であるという報告がありますが、手術適応となる IMH を伴う急性 A 型大動脈解離における手術成績に関してまだ明らかではありません。今回我々は当院で経験した IMH を伴う急性 A 型大動脈解離の早期および長期の手術成績を検討することを目的としています。

研究内容：

●対象となる患者さん 2009年1月1日～2022年12月31日までで当院心臓血管外科で急性大動脈解離の手術を施行された患者様。

●利用する情報/資料 年齢、性別、既往症、臨床症状、血液検査結果、画像情報、手術結果、治療方法、手術後のリハビリ情報、治療後の転帰・予後など。

●研究方法：画像および術中所見で tear を認めないものを IMH 群とし、手術適応は偽腔径>11mm、上行大動脈径>50mm または血性心嚢水のいずれかを満たすものとし、当院で手術を行った大動脈解離症例を入院・外来カルテから患者情報(性別・年齢・併存疾患・既往歴・家族歴・喫煙歴・実施手術・術後合併症・術後経過)を抽出し、IMH 群と classic AD 群(IMH 以外)に分類し、両群間で血液データ・手術因子・治療情報(在院生存/死亡・合併症・遠隔生存/死亡)を比較検討します。尚、患者様の情報は匿名化後の電子化情報のみを使用し、統計解析を行います。研究成果は学会や雑誌等で発表されますが、その際も個人を特定する情報は公表しません。

ご自身またはご家族等が、過去の診療データや保管している試料を研究に使用してほしくないと思われる場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の研究担当者へご連絡をお願い致します。研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受ける事はありません。何卒、本研究へのご協力およびご理解のほど、よろしくお願ひいたします。

問い合わせ先：

【研究担当者】

氏名：田島 泰

住所：〒238-8567 神奈川県横須賀市上町 2-36

電話：046-823-2630 FAX：046-827-1305

受付時間：月～金 9:00～17:00 (祝・祭日を除く)